

平成30年度 平塚中等教育学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

取組項目		目標（達成すべき内容）	行 動 計 画	検証結果
1	交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止	交通事故の発生を未然に防止して、社会人として法規範を守り、行動する。	① 新聞記事等の具体的な事例を活用して、法規範の遵守することの大切さ、及び不祥事により引き起こされる事態の重大さを知る職員全員対象の研修会を設ける。	○
			② 飲酒を伴う会合には必ず自家用車での参加を取りやめ、自転車の飲酒運転も重大な犯罪になる認識を持たせるよう啓発する。	○
			③ 所属職員全員が参加し、交通事故・違反の事例に基づいた研修会を開き、適切な対応を討議する。	△
2	不適正経理処理の再発防止（公費・私費・現金管理）	適正な私費の徴収・執行を行う。	① 私費担当者会議を開催して、私費執行手順を確認し、職員全員に周知徹底する。	○
			② 業者選定委員会を活用し、業者・予算等が適正に選定されるようにする。	○
			③ 私費会計基準に基づき、支出伝票・出納簿等の書式・手順の整理、通帳等の管理体制の徹底を図る。	○
3	体罰・不適切指導	生徒の人権を尊重し、真摯な態度で指導に当たる。	① ヒヤリハットの事例集を参考に、グループ会議や学年会議で事例について討議する。	△
			② 日常的に生徒の人権に配慮した指導が行われるように教職員全員が参加する研修会を行う。	○
			③ 行事等の企画の際、人権に配慮した指導項目を盛り込んだ計画を立てる。	△
4	セクハラ・わいせつ行為	人権に配慮し、尊重した対応を身につける。	① 人権・同和教育研修会を企画し、人権尊重の意識を高め、偏見・差別を許さない教育の実践に向けて教職員の意識付けをする。	○
			② 携帯電話、電子メールの不適切な使用がないよう啓発をする。ヒヤリハットの事例集を参考に、職員全員に報告・周知する。	○
			③ 職員啓発資料をもとに、所属職員全員を対象とした職場研修を実施する。	○
5	個人情報等管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。	① 関係グループが研修資料を作成し、個人情報の保護・管理について研修会を設ける。	○
			② 個人情報管理規定の運用について所属職員全員を対象とした職場研修を実施する。	○
			③ 個人情報の保持状況を調査し、職員にその保護の必要性を周知し、定期的に点検する。	○
			④ 携帯電話、電子メールの不適切な使用がないよう研修会を実施し啓発をする。	○
			⑤ USBメモリー等記録媒体の不適切な使用がないよう研修会を実施し啓発をする。	○
			⑥ 教職員個人の電子データ等の保守意識を高め、やむを得ず個人情報等を校外に持ち出す場合の心構えの徹底を図る。	○
6	業務執行体制	公務遂行に対して確認・点検を実施する。行政文書を適切に処理する。	① 行政文書の取り扱いに注意し、保管・管理の徹底を図る。	○
			② 定期テスト等の事故防止を喚起し、確認・点検の徹底を図る。	○
			③ グループ会議や学年会議で、事故の事例より、適切な対応を確認し、事故防止のための意識付けを図る。	○
7	公務外非行	地域社会の一員として自覚をもって行動する。	① 公務員として公僕の意識を高め、法規範を守り行動することを周知徹底する。	○
			② 常に、公私の別を明らかにし、県民の疑惑や不信を招く行為はしないよう周知徹底する。	○
			③ 所属職員全員を対象とした、規律違反の事例に基づいた研修会を開き、公務員としての自覚を促す。	○

○＝達成できた △＝一部達成できた ×＝達成できていない

○ 平成30年度不祥事防止ゼロプログラムの達成状況と平成31年度に取り組むべき課題について(学校長)

- ・不祥事防止プログラムの計画に従い、事防止会議と不祥事防止研修を実施し、職員の危機管理意識の向上を図ることができた。
- ・「不祥事防止職員点検啓発資料」の活用および、タイムリーに朝の打ち合わせで職員へ注意喚起を行うことができた。
- ・次年度も不祥事防止ゼロプログラムに従い、学校全体で事故防止に向けた取り組みを行うとともに、職員同士の気付きや連携し合える風土を醸成させたい。